

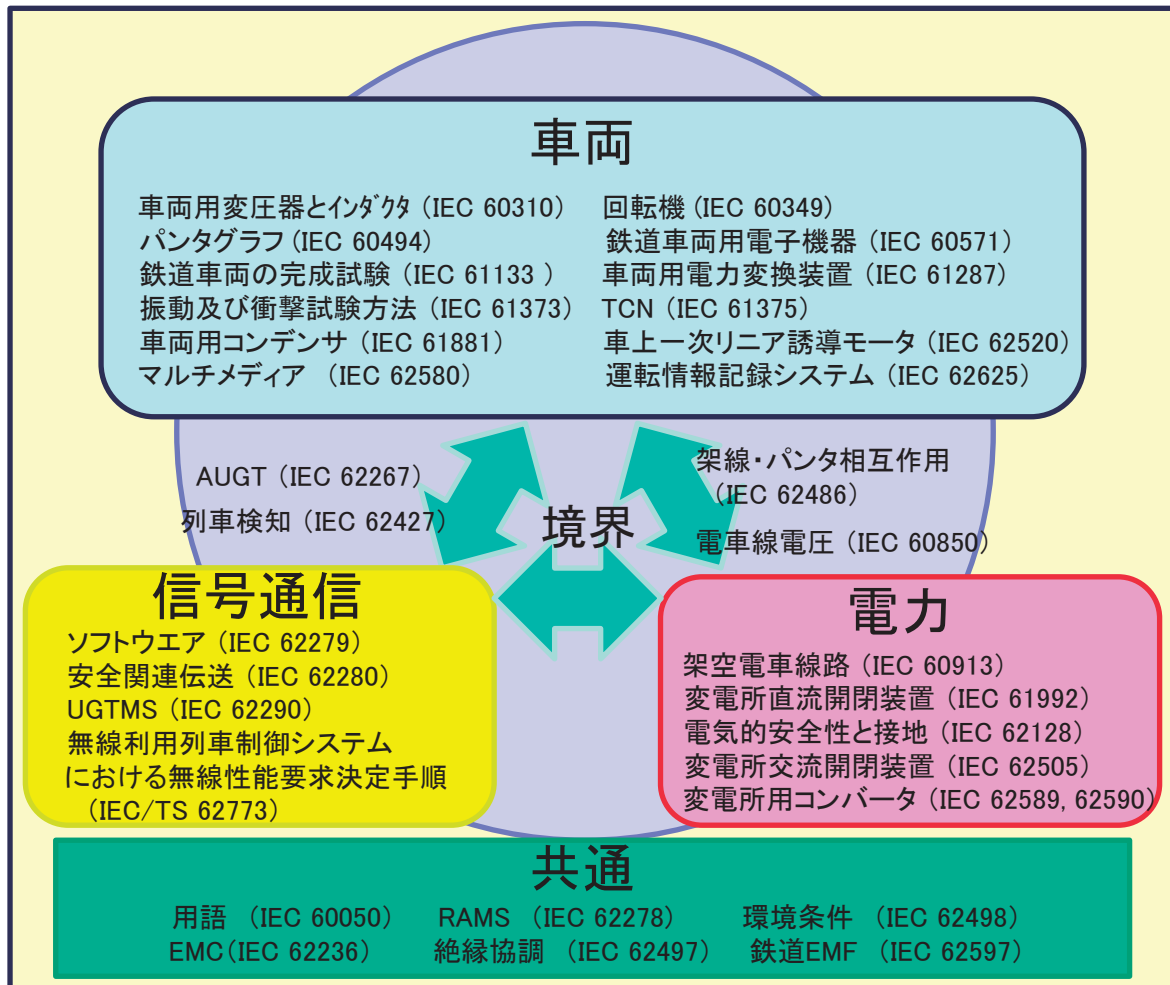
鉄道分野の国際規格の動向

Trend of International Standards for Railway Application

1995年にWTO(世界貿易機関)が設立され、TBT協定(貿易の技術的障害に関する協定)が発行されました。これにより、各国に対し強制規格や適合性評価の手続きの作成や改正を行う際に、原則として国際規格等を基礎とすることが義務付けられ、国際規格の重要性が増すようになりました。ここでは鉄道技術に主として関係するIEC(国際電気標準会議)とISO(国際標準化機構)と動向について紹介します。

【IECにおける鉄道分野の国際規格】

鉄道技術に関するIECの国際規格は、TC9(鉄道用電気設備とシステム)で包括的に扱われています。鉄道総研はTC9の国内審議団体として、関係団体や企業と協力し、活動を実施しています。



主なIEC/TC9 発行・審議中の規格

【ISOにおける鉄道分野の国際規格】

本年4月、鉄道技術を包括するISOの専門委員会 (ISO/TC269) の設置が決定されました。ISO/TC269では、鉄道の包括的な規格および個別製品の規格が対象となる予定です。鉄道総研では、このISO/TC269の国内審議団体としての活動を開始するとともに、従来から活動しているISO/TC17/SC15 (鋼専門委員会 / 鉄道レール、レール締結装置、車輪及び輪軸分科委員会) の国内審議団体としての活動も引き続き行っています。また、これ以外にも鉄道に関連するISO規格の審議にも参加しております。

施設関係

TC17/SC15 普通レール (ISO5003)
TC61/SC11 プラスチックまくらぎ (ISO12856)
今後 TC269でも数多くの規格化が予定されます

環境関係

TC43/SC1 鉄道車両の騒音測定法 (ISO3095)
TC108/SC2 鉄道車両の地中からの振動と騒音 (ISO14837-2)

情報関係

TC204/WG8 相互運用可能な運賃管理システム (ISO24014-2)

車両関係

今後 TC269で数多くの規格化が予定されます

ISO鉄道関連 審議中の規格および今後の予定

公益財団法人鉄道総合技術研究所
鉄道国際規格センター